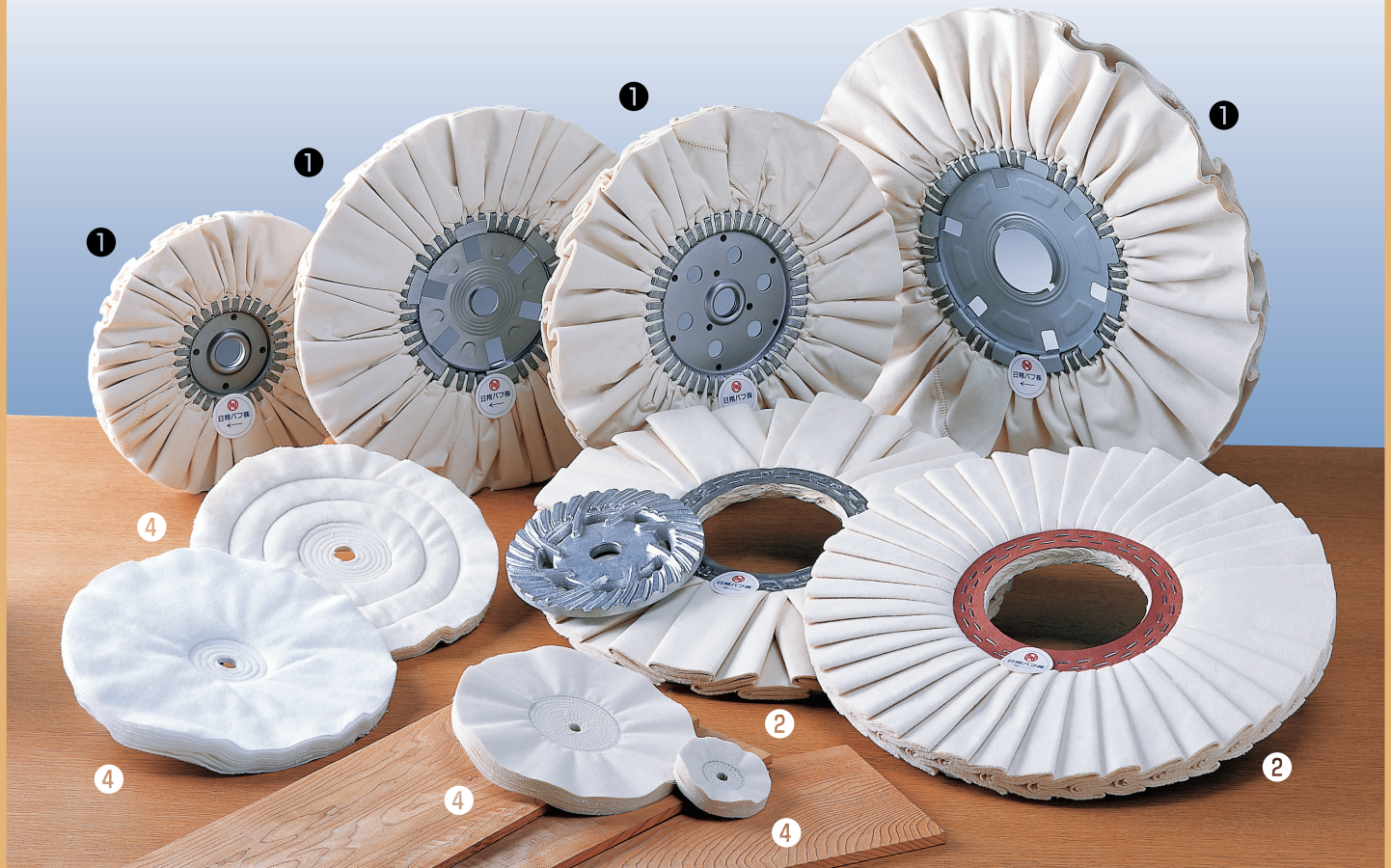


研磨力と耐久性に優れています。

# オープンバイアスバフ/フラップバフ



## 1 オープンバイアスバフ

- バフの円周面に縦糸、横糸の先端が集まっているので糸のほつれも少なく、バフが長持ちします。(図1)
- 荒研磨から仕上げ研磨まで生地をかえることにより可能です。
- 0型、2型、4型、6型の巻き型があり、型が大きくなるほど腰が強くなります。(図2)

図1

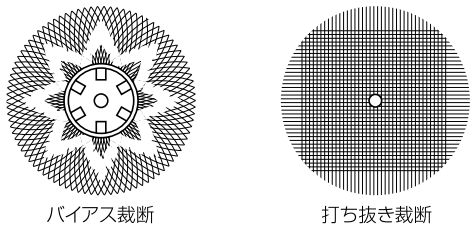
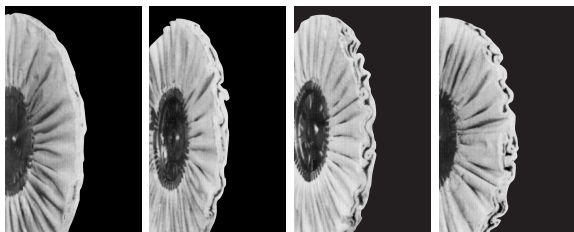


図2



## 2 フラップバフ

- 生地をバイアス裁断し縦糸、横糸がほつれにくいように布を1枚ずつ折りたたんで組み込み製作してあります。
- ミシン加工を必要としないのでバフ目がでにくい。
- 特殊な組み立てで空冷効果は抜群です。
- バフが小さくなってきても、腰の強さはほとんど変わりありません。
- 指定のアルミフランジをご使用下さい。

## 3 カセット式(バイアスバフ、フラップバフ)

- 広幅物の自動研磨機でバフを1枚ずつめ込む手間をはぶくために開発しました。
- 紙管にバフを1枚ずつめ込んで製作しバフとバフの間にスペンサーを入れて空冷効果も考えてあります。
- ドレッシングをしてあるので最初から研磨材のなじみが良いです。
- 軽量化もしてあります。



## 4 綿バフ

- 金属、木工、合成樹脂の研磨に適しています。



**日翔バフ株式会社**

〒430-0853 浜松市南区三島町583  
TEL.053(441)3677 FAX.053(442)9255